

環境保全対策事業

[615]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	52-0101	実施計画
施策	02	地球にやさしい生活の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	環境保全のための教育・学習・実践	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市内在住、在勤、在学(高校生以上)のかた 市内公共施設	<p><家庭版環境ISOの推進></p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活における環境にやさしい行動の実践を促すため、「家庭版環境ISO」や、その簡易版である「コツコツダイエットプラン」の実施を推進。 <p><環境教育・環境学習の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の環境意識高揚を図るため、名古屋産業大学や市民団体、市内企業とともに「あさひエコ大学」や「あさひこども環境教室」を開催。 <p><緑のカーテンの実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策として、市を挙げて緑のカーテンを実施するため、市民にゴーヤの苗を配布するとともに、公共施設においてもこれを実施。 <p><環境パトロールボランティアの支援></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民自らの手で地域の生活環境を保全するため、公募により募集した環境パトロール員により、不法投棄や野焼き、建物・土地の管理状況の実態を把握。 <p><温室効果ガスの排出削減></p> <ul style="list-style-type: none"> 市が実施する全ての事務事業で発生する温室効果ガスを削減するため、尾張旭市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を運用。(環境マネジメントシステムの運用はH28をもって終了)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の主体的な環境保全活動が実現できている。 市が実施する事務事業や施設管理上で発生するCO2排出量が削減されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	環境に関する講座の開催数	回	5	5	5	5	
	講座参加人数	人	113	151	100	186	
成果指標	市の施設における温室効果ガス排出量	tCO2	5,105	5,445	5,102	5,235	
	事業費 計		1,311	1,239	1,311	1,308	
指 標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他	千円	790	790	790	790
		オ 一般		521	449	521	518

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 環境学習講座の参加人数は、H29実績と比較すると35人増加している。 市の温室効果ガス排出量は、H29実績と比較すると210t-co2減少している。 (原因) 継続的な講座開催により市民周知が進んでいる。 街路灯のLED化や文化会館の改修などにより電気使用量が減少している。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	尾張旭市地球温暖化実行計画に基づき、市の事務事業による温室効果ガス排出削減を推進します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
尾張旭市地球温暖化実行計画に基づき、市の事務事業による温室効果ガス排出削減について周知・推進しています。			

再生可能エネルギー利用推進事業

[614]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	52-0201	実施計画	
施策	02	地球にやさしい生活の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	省エネ・再生可能エネルギーの利用促進	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内に居住するかた(今後居住予定のかたを含む)	<p><住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金> 自ら居住する建物に設備を設置しようとするかたに、設置に係る補助金を交付。</p> <p>・補助対象 住宅用太陽光発電施設 家庭用エネルギー管理システム(HEMS) 家庭用燃料電池システム(エネファーム) 定置用リチウムイオン蓄電システム 電気自動車等充給電設備</p> <p>・市内業者による施工を行った場合は、優先当選、住宅用太陽光発電施設は補助額1.5倍。</p> <p><公共施設への再生可能エネルギーの導入> 行政が率先して地域温暖化対策を進めるとともに、防災拠点の機能強化を図るため、公共施設への再生可能エネルギーの導入を促進。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
多くの世帯が地球温暖化対策設備を設置し、自然エネルギーを有効利用することにより地球温暖化の抑制に寄与している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	補助金交付世帯数	世帯	83	78	108	87	
	補助対象kw数(太陽光発電施設)	kw	270	238	182	269	
成果指標	補助金交付世帯数(累計)	世帯	608	686	824	774	
	補助対象kw数(累計)	kw	2,424	2,662	2,788	2,931	
事業費 計			7,260	7,680	8,000	7,638	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	1,264	1,461	1,526	1,473
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		5,996	6,219	6,474	6,165

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 補助金交付世帯数はH29実績と比較し、10世帯増加の88世帯に補助している。 補助対象kw数はH29実績と比較し、31kw増加の269kw補助している。</p> <p>(原因) H30の補助金交付世帯数は、HEMSなど太陽光発電設備以外の設備に対する補助により、H29実績を上回った。 H30の補助対象kw数は、設置未完了による取下げが少なくH29実績を上回った。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

環境基本計画推進事業

[619]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	52-0901	実施計画
施策	02	地球にやさしい生活の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(市民団体・事業者含む)、市(市職員)	各種の環境保全等に対する取り組みを総合的かつ計画的に推進するため、市民参画のもと策定した「尾張旭市環境基本計画」(平成19年3月策定、平成27年3月中間見直し、令和6年3月計画期間終了)の確実な進行管理と、社会状況等の変化に基づき内容の見直し等によって、その積極的な推進につなげる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>< 取組み内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係各課へ環境基本計画の進捗状況等を確認 確認結果を集計し、年次報告書を作成 集計結果を環境審議会等で審議 審議結果を年次報告書として公表 年次報告書の結果を踏まえて関連事業の内容を見直し 見直し結果に基づき事業を実施
	総合計画の体系に基づいて、各種の環境施策が市民・事業者等にわかりやすく示され、市民協働による事業等を検討した計画が推進されている。具体的活動が展開されることにより、施策成果の実現が果たされている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	各種会合回数	回	2	2	2	2
	環境関連事務事業数	事業	39	39	39	39
成果指標	環境基本計画で設定した施策進捗指標の目標達成率	%	50	60	87	60
事業費 計			108	102	128	115
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	108	102	128

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)「環境基本計画で設定した施策進捗指標の目標達成率」のH30実績は、H29実績と同様60%であった。</p> <p>(原因)施設整備などの公的な分野の指標達成率が向上しているが、市民や市民団体及び事業者と協力がが必要な分野の指標が伸びていない。</p>
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	99-0308	実施計画	
施策	02	地球にやさしい生活の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	環境課の主な庶務事務(%) ・庁内外文書の收受及び処理(30) ・郵便物の発送(10) ・課内の備品・消耗品の管理・調達(5) ・時間外勤務の整理(5) ・出張命令書の整理(5) ・年次休暇・出勤簿の整理(5) ・財務会計の処理(15) ・予算・決算に関する事務(10) ・尾張旭市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に関する事務(5) ・行政評価に関する事務(5) ・各種負担金に関する事務(5)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			3,895	1,284	1,380	1,283
財源内訳		ア 国				
		イ 県	12	12	12	12
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	3,883	1,272	1,368	1,271

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-